2027年3月期 第2四半期(中間期)決算説明会

株式会社システムリサーチ

(東証プライム・名証プレミア：3771)



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

目次

01. 会社概要

02. 2027年3月期 第2四半期（中間期）業績

03. 2027年3月期 見通しと中期経営計画

04. サステナビリティ

05. ソリューション紹介

06. 株主還元

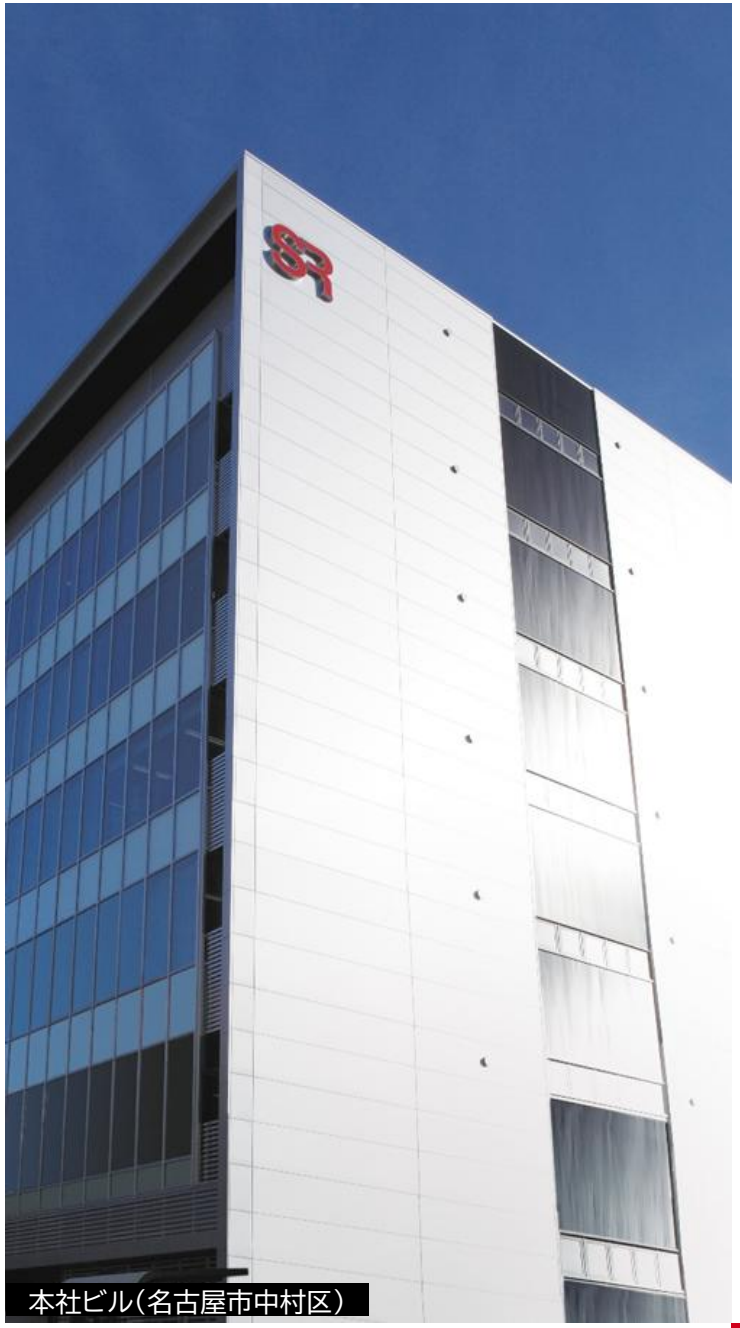
07. 参考資料



本社ビル・正面から（名古屋市中村区）

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

01. 会社概要



本社ビル（名古屋市中村区）

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

会社概要

設立	1981年(昭和56年)3月
上場証券取引所	東証プライム市場　名証プレミア市場 ＊2016年12月東証一部上場 2025年3月名証重複上場
代表者	代表取締役社長：平山　宏
資本金	5億5,015万円
連結従業員数	1,705名 平均年齢33.0歳(2026年9月30日現在)
連結子会社	株式会社ソエル
主な株主	山田敏行：9.54% 日本マスタートラスト信託銀行：5.63% (2026年9月30日現在)

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

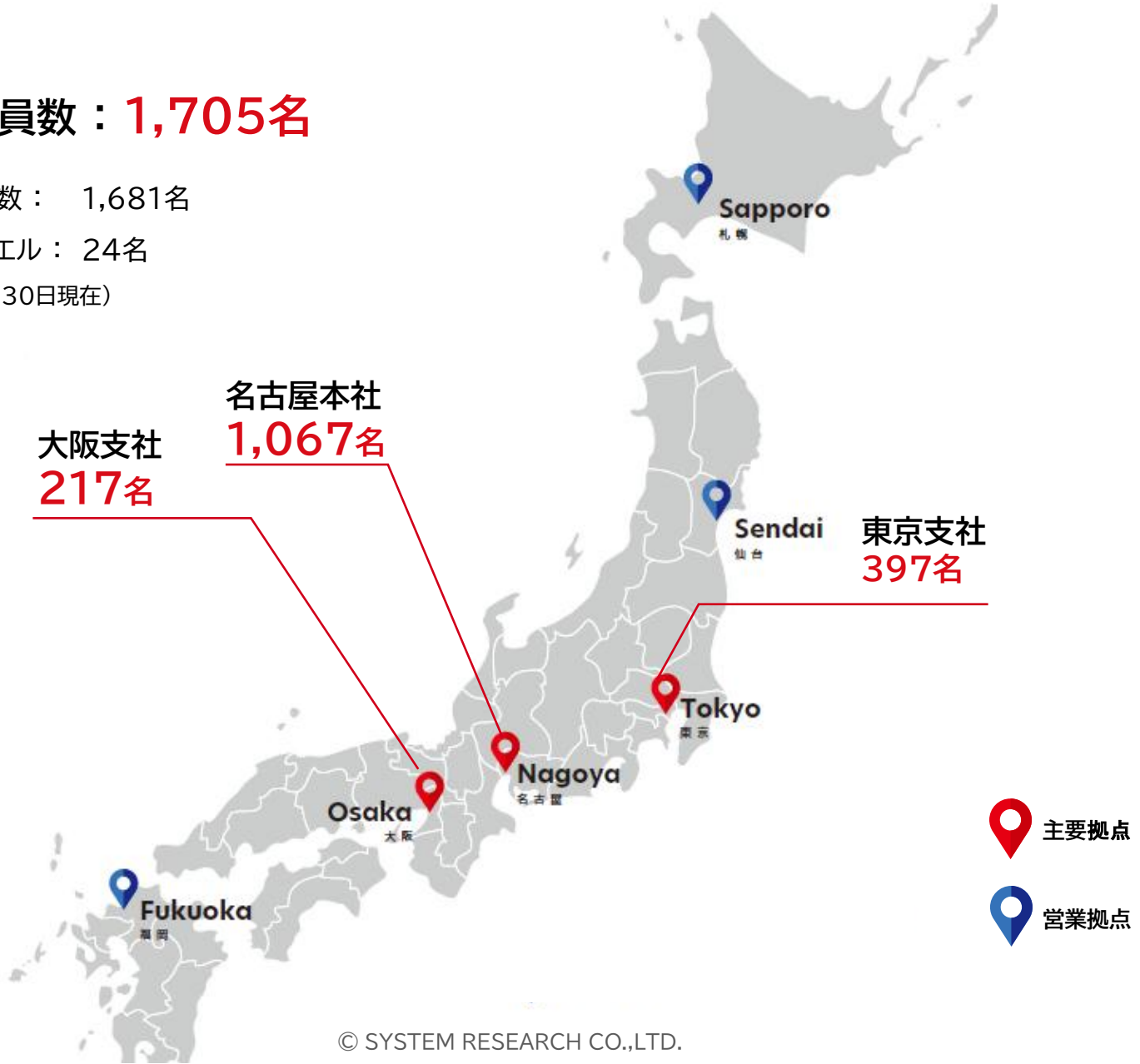
事業所・営業拠点

連結従業員数：1,705名

単体従業員数：　1,681名

株式会社ソエル：　24名

（2026年9月30日現在）



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

子会社事業の展開

特例子会社　株式会社ソエルの事業

所 在 地　：岐阜県大垣市今宿六丁目52番地18
出資比率：当社75%、株式会社ウェルテクノス25%
目　的　　：障がい者に対する自立支援と生きる喜びの場を提供
　　企業の社会的貢献の一環
　　障がい者雇用義務の達成

ソエルHP
二次元コード▸

SYSTEM
CONNECT
WELFARE

【ソエルの主な開発実績】

システム開発	• 企業内業務管理システム 開発・保守 • IoTシステム開発 • 社会インフラ・制御システム
アプリ開発	• グループウエアアプリ • 名刺管理アプリ • ECサイト・カートアプリ
Web ソリューション	• サイト管理・サーバー保守 • セキュリティログチェック • ソフトウェアテスト支援 • Web会議導入支援 • ドキュメントPDF化



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

ビジネスに寄り添うITパートナー

経営ビジョン

- プロフェッショナルとして顧客に頼られる存在になる
- 誇れる技術で得意分野を磨き、新たな価値を創造する
- 仕事を通じて成長し、社会への貢献と活躍を実感する

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

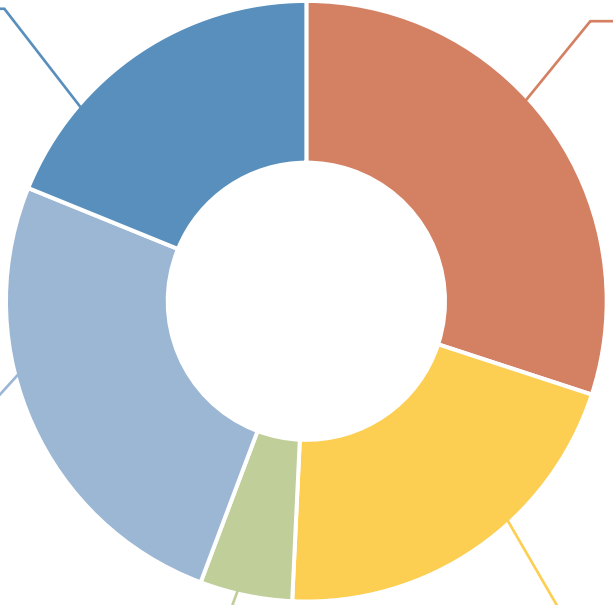
主な取引先

コンピュータメーカー

富士通株式会社／株式会社日立製作所／日本アイ・ビー・エム株式会社／東芝デジタルソリューションズ株式会社　他

トヨタグループ（全売上高の約3割）

トヨタ自動車株式会社／株式会社トヨタシステムズ／豊田自動織機グループ／豊田通商グループ／株式会社デンソー　他



大手SIer

ＳＣＳＫ株式会社／伊藤忠テクノソリューションズ株式会社／TISI株式会社／日鉄ソリューションズ株式会社／株式会社NTTデータ東海　他

その他エンドユーザー

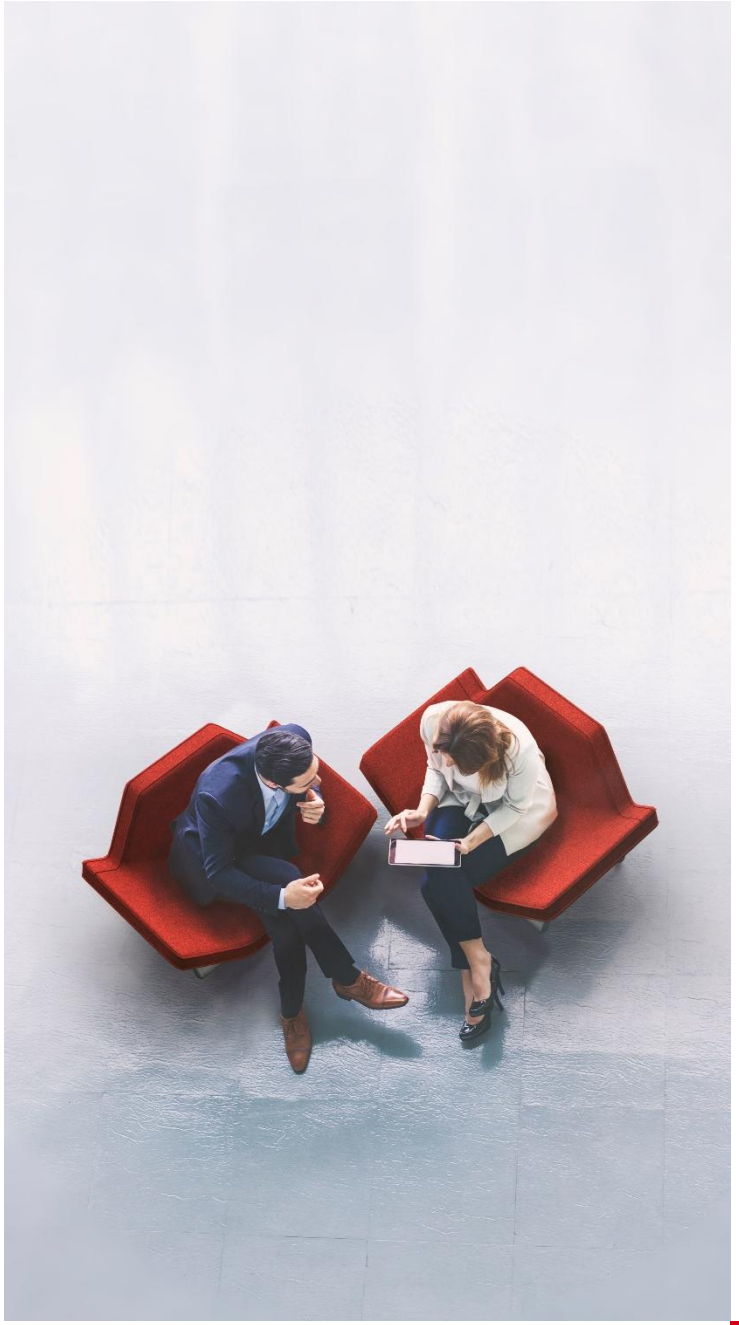
ヤマト運輸グループ／日本通運株式会社／名港海運株式会社／株式会社大同ITソリューションズ／NGK株式会社／株式会社ダイフク／オークマ株式会社／朝日インテック株式会社／三菱電機グループ／カゴメ株式会社／TOPPAN株式会社／ソフトバンク株式会社／株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス　他

コンサル

株式会社野村総合研究所／
株式会社ビジネスブレイン太田昭和　他

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

02. 2027年3月期
第2四半期(中間期)業績



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

2027年3月期　第2四半期(中間期)実績サマリー(連結)

(単位:百万円)

売上高前年同期比6.8%増で過去最高売上。
売上総利益も過去最高を確保。
販管費の増加と固定資産売却損の発生で中間純利益は前年比で減少。

	売上高比(%) 2026年3月期 中間期 (2025/4~2025/9)	売上高比(%) 2027年3月期 中間期 (2026/4~2026/9)	前年同期増減比
売上高	14,194	15,169	+6.8%
売上総利益	22.4% 3,187	22.0% 3,349	+5.1%
営業利益	10.7% 1,519	9.6% 1,464	▲3.6%
経常利益	10.7% 1,531	9.6% 1,466	▲4.2%
親会社株主に 帰属する中間純利益	7.9% 1,121	6.6% 1,014	▲9.5%

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

2027年3月期　第2四半期(中間期)売上(区分別)

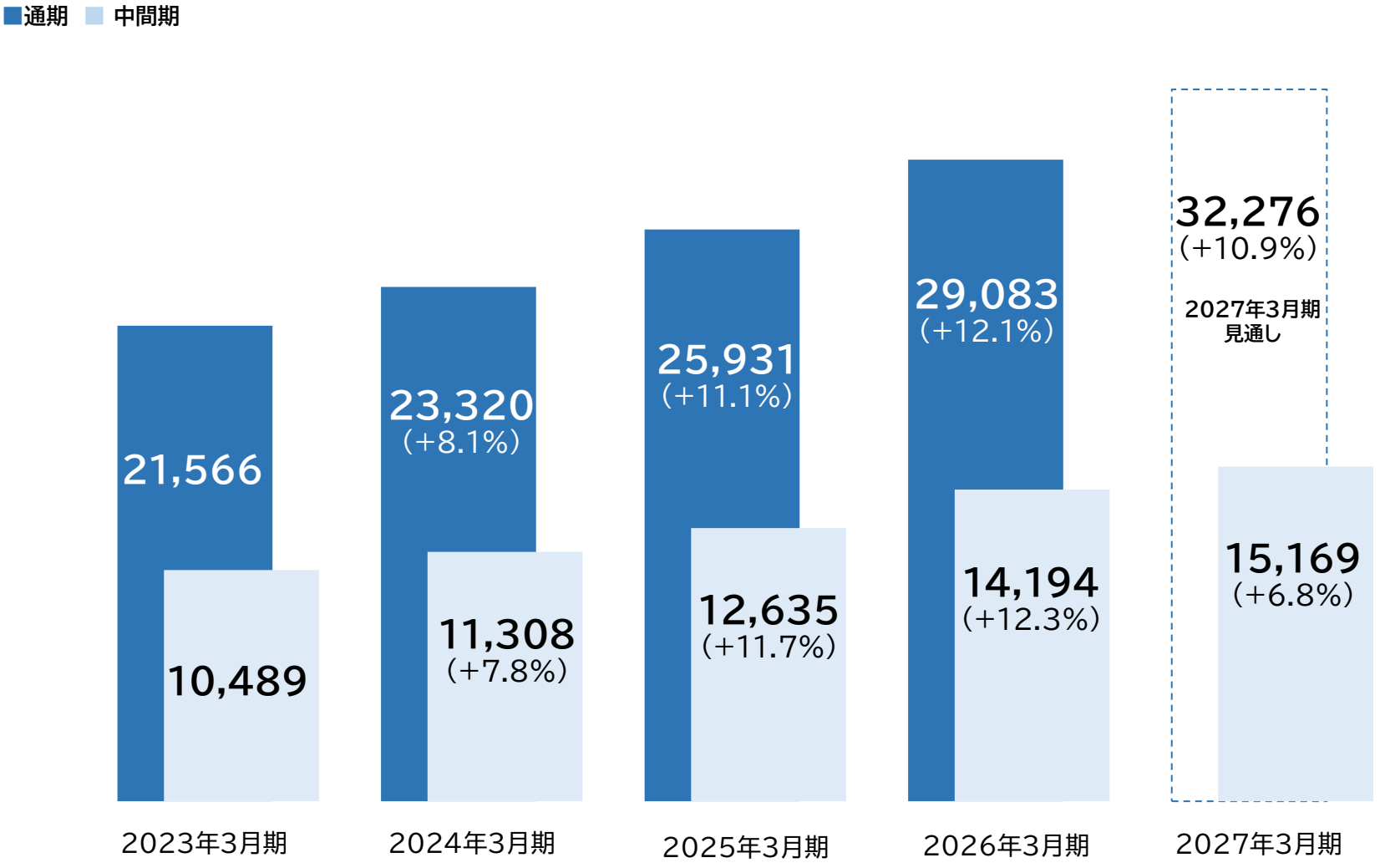
(単位:百万円)

事業内容	売上区分	2026年3月期 中間期 売上高	2027年3月期 中間期 売上高	増減比	
SIサービス	SIサービス	5,346	5,129	▲4.1%	一括請負案件の受注が減少
SIサービス	ソフトウエア開発	8,104	9,160	+13.0%	開発案件を準委任契約で獲得
ソフトウェアプロダクト	ソフトウエアプロダクト	189	180	▲4.8%	パッケージソフトの売上高減少
ソフトウェアプロダクト	商品販売	405	533	+31.5%	大型IT設備販売案件を受注
ソフトウェアプロダクト	WEBサービス等	148	164	+10.7%	流通金額が増加
	合計	14,194	15,169	+6.8%	

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

売上高(中間期・通期)の推移(連結)

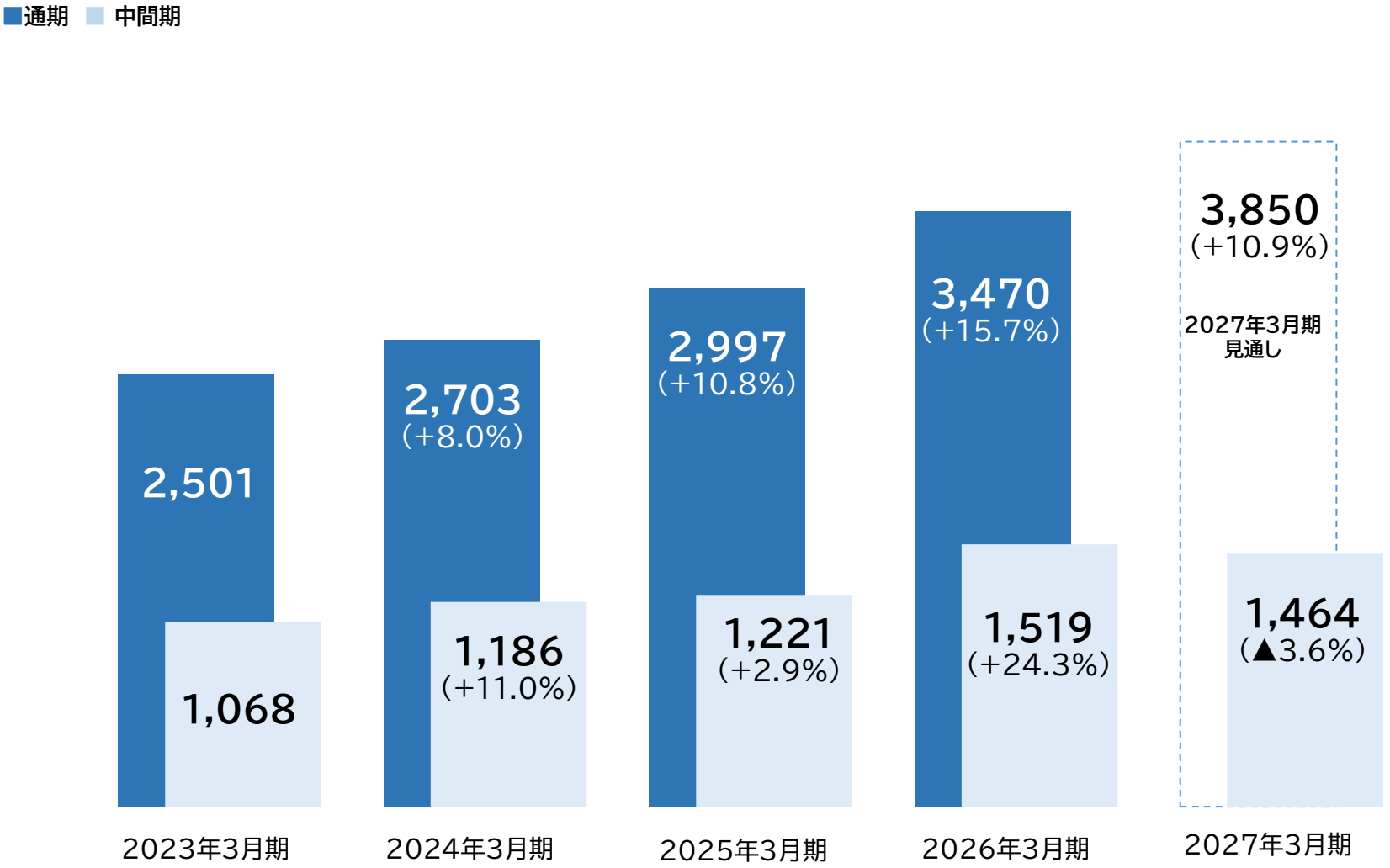
(単位:百万円)



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

営業利益(中間期・通期)の推移(連結)

(単位:百万円)

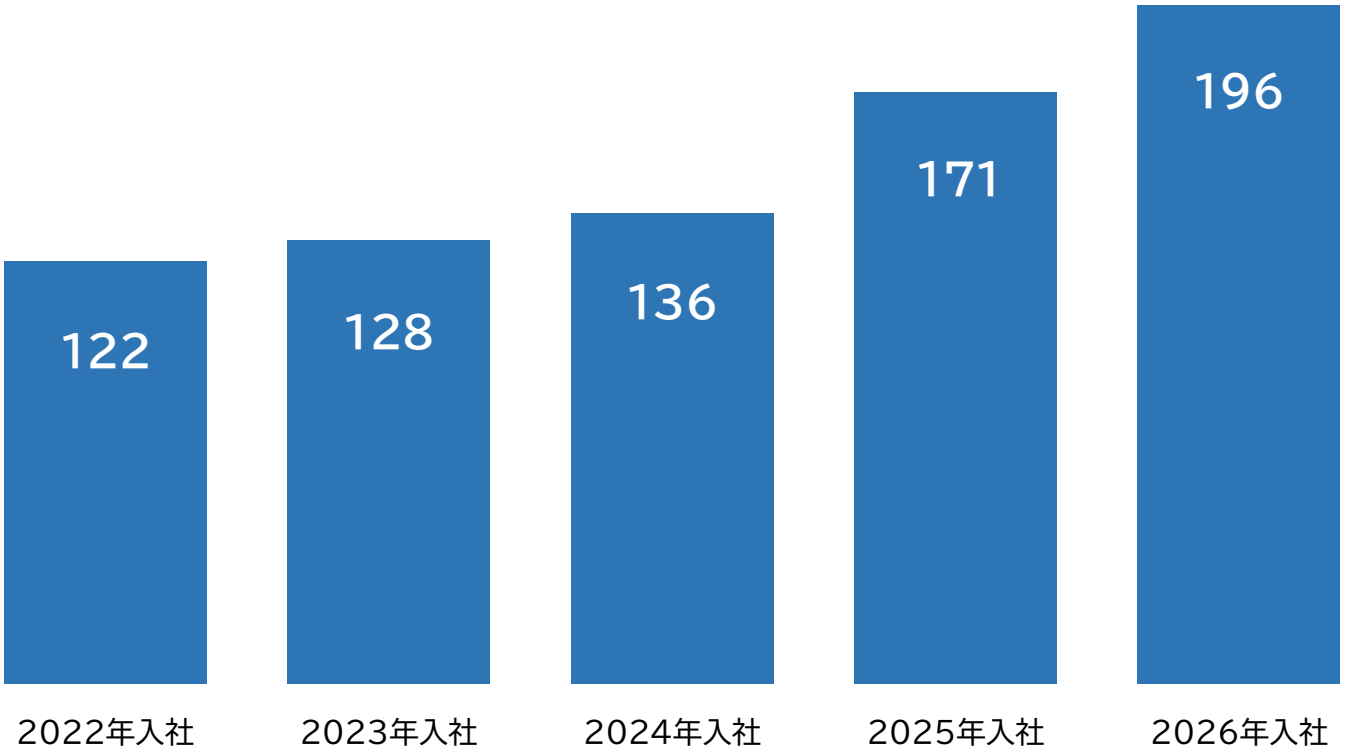


© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

採用実績の推移（単体）

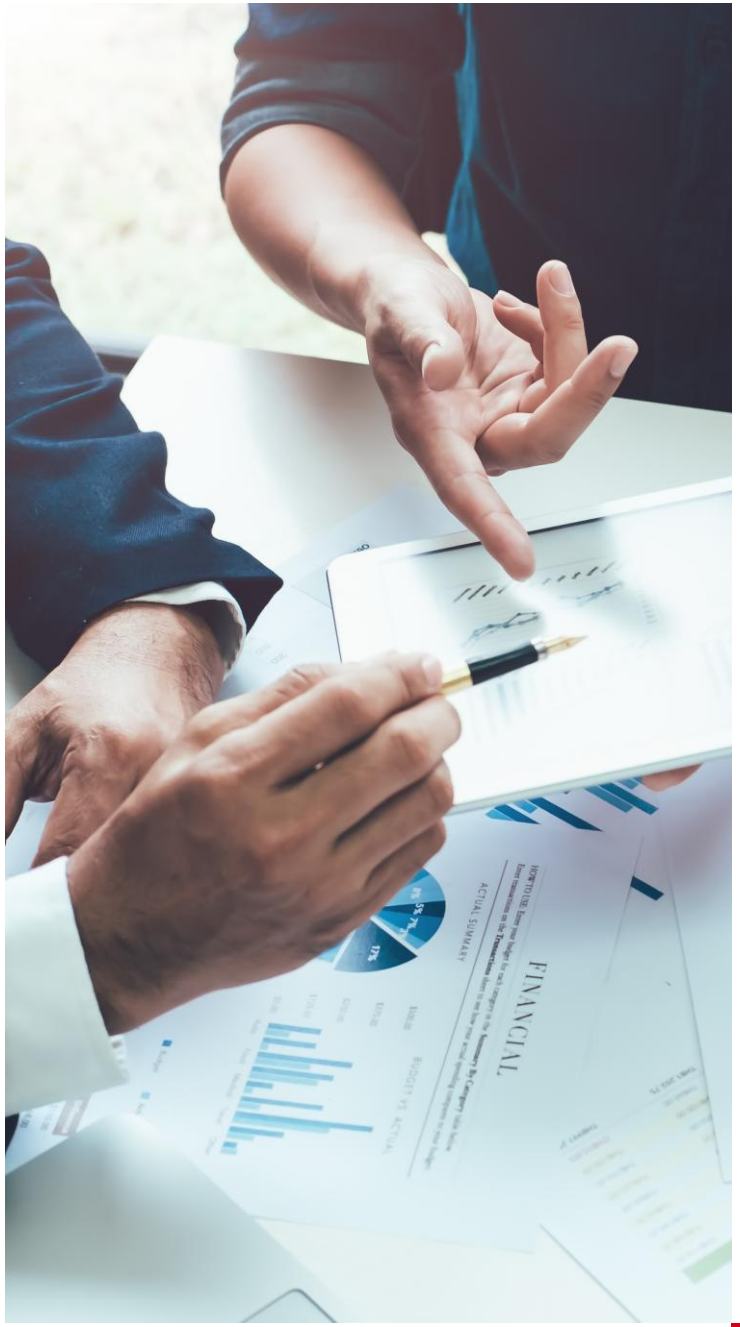
（単位：人）

過去5年間の新卒採用実績



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

03. 2027年3月期 見通しと中期経営計画



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

2027年3月期業績見通し(連結)

(単位:百万円)

【通期】	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	前期比増減
売上高	29,083	32,276	+10.9%
営業利益	3,470	3,850	+10.9%
経常利益	3,551	3,907	+10.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,610	2,836	+8.6%

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

キャッシュアロケーション

●適正な現預金水準に関する当社の考え方

事業基盤である技術者の雇用維持を目的に、約70億円を
適正資金水準として確保

2026年3月末
現預金
83億円
＊単体

適正資金水準
現預金
約70億円

＊受注が50%減少の
状況で約1年間
雇用維持が可能な額

●人件費を中心とする
費用構造

●不況下でも技術者の
雇用を確保し事業活動
を継続

●人材流出の防止と
将来の成長機会保持

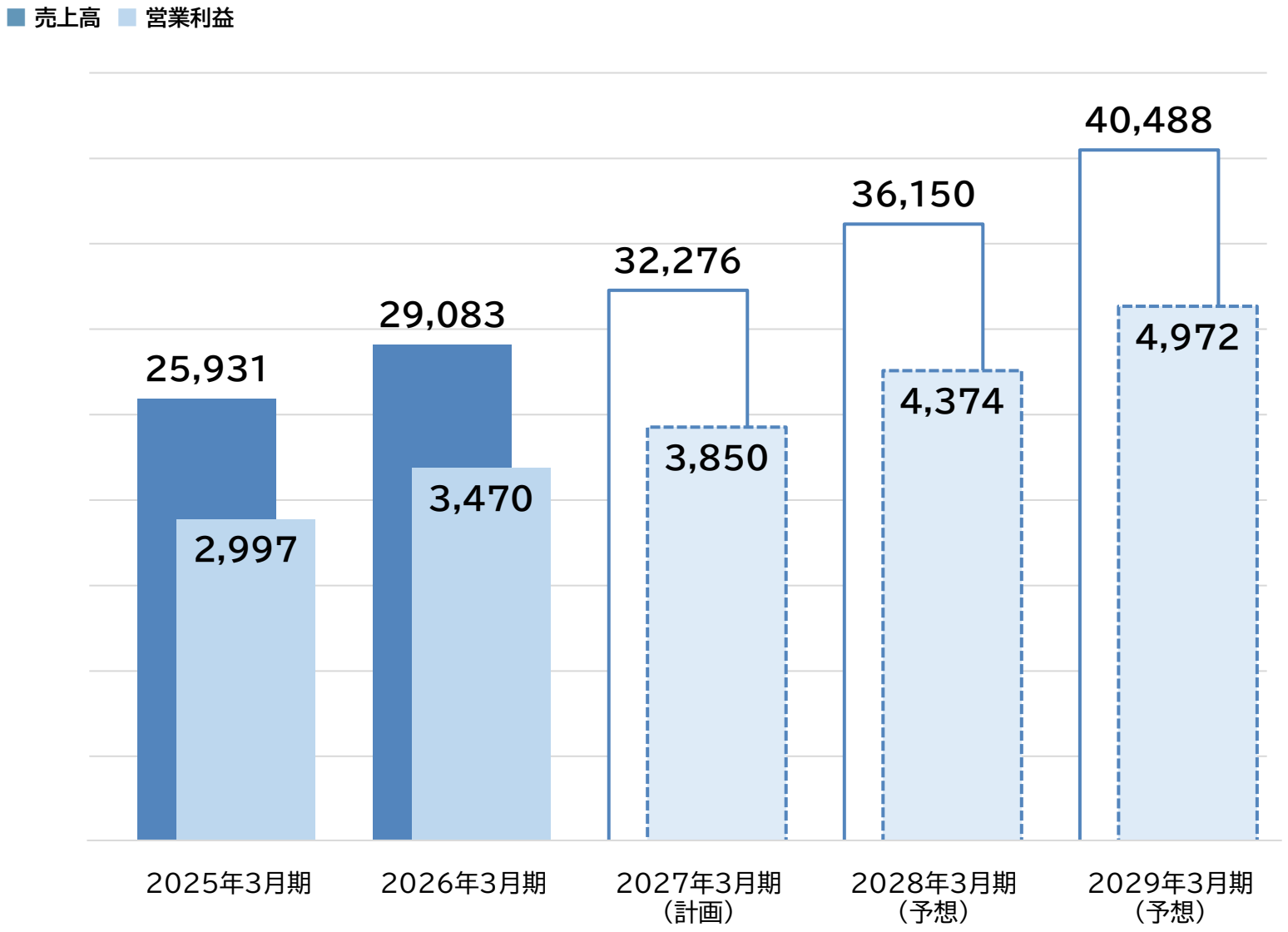
約13億円

●成長投資　●株主還元
●借入圧縮　へ

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

中期(3ヵ年)経営計画(連結売上高・連結営業利益)

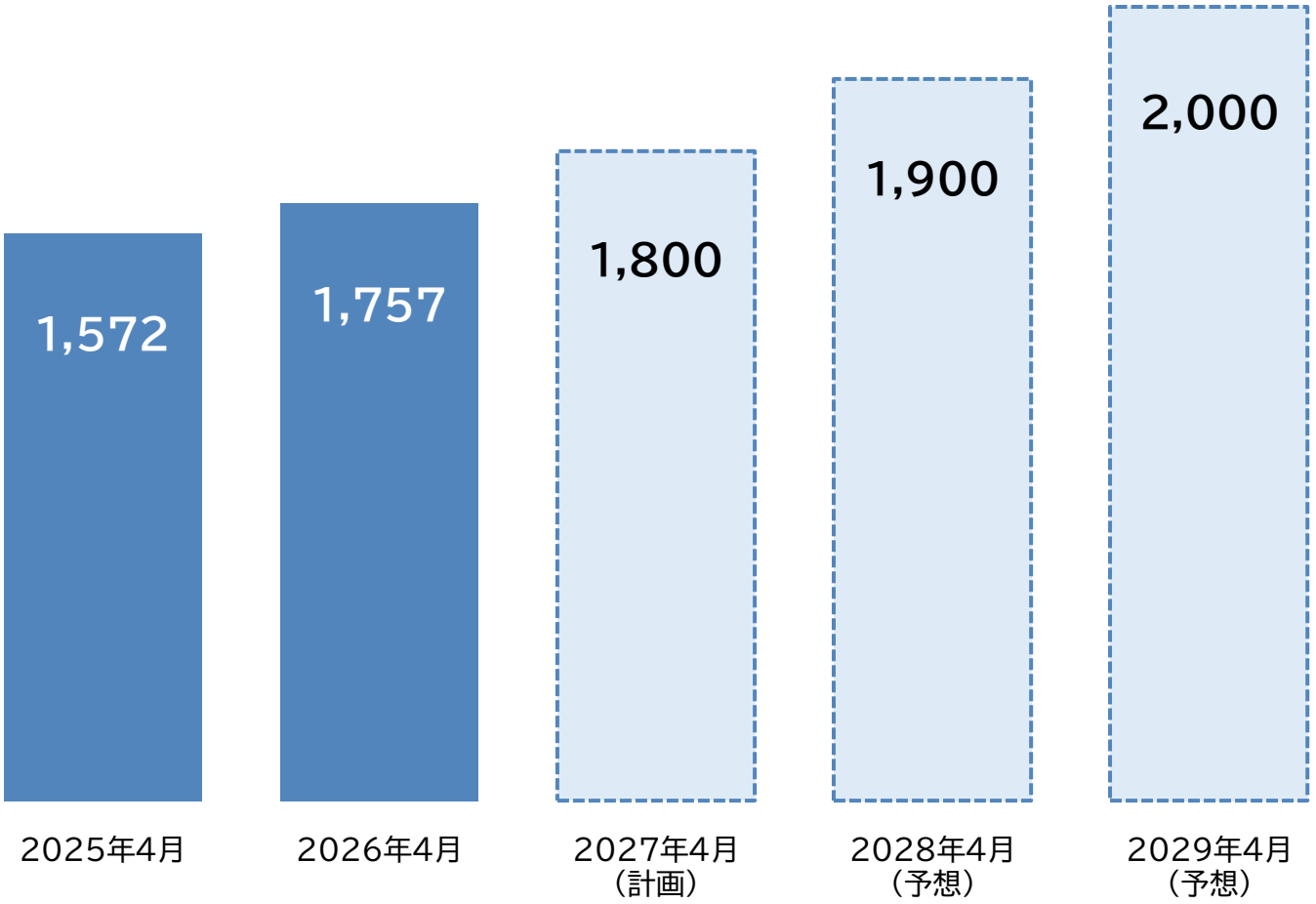
(単位:百万円)



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

中期(3カ年)経営計画(連結従業員数)

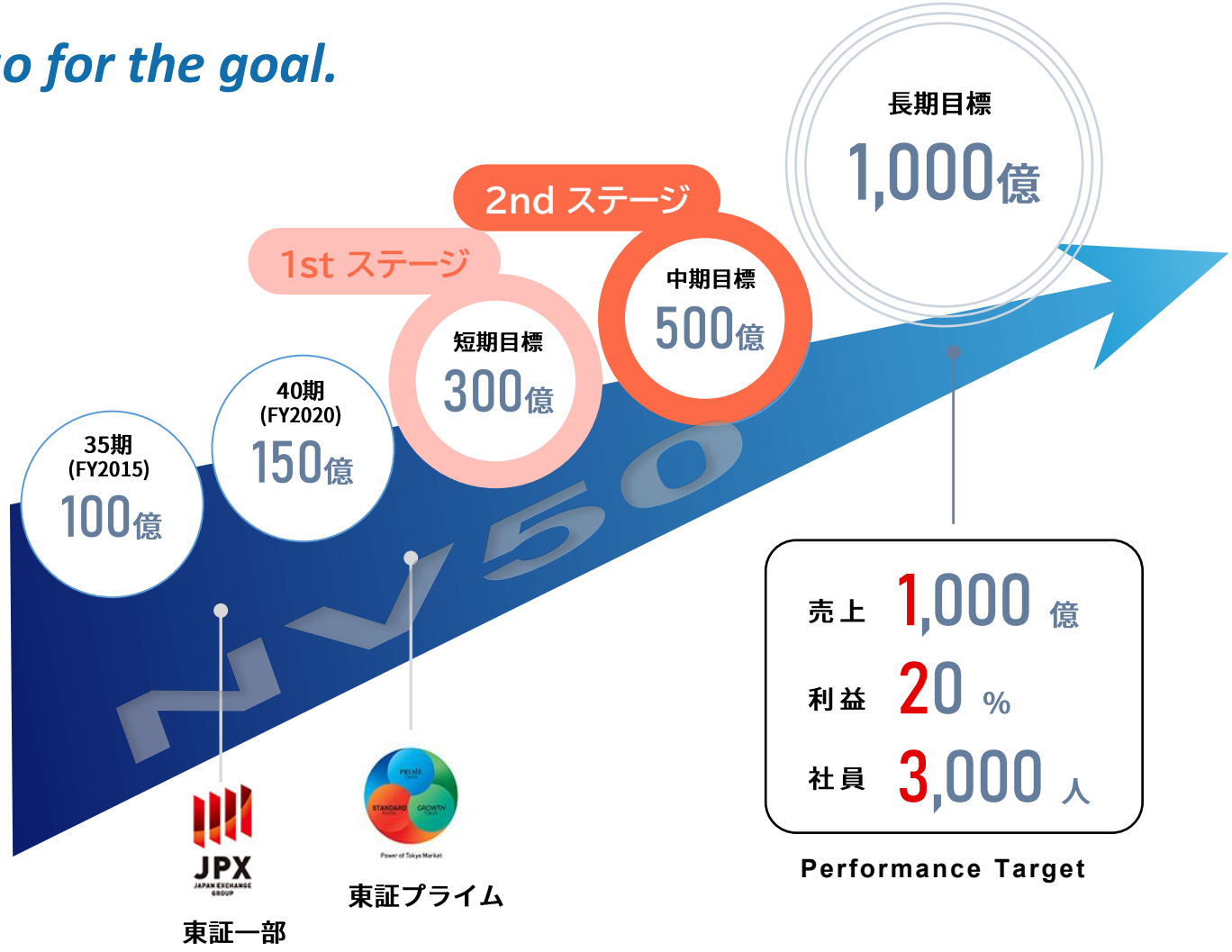
(単位:人)



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

中長期目標

We'll go for the goal.



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Next Vision 50th

Next Vision 50thは、外部環境（経済環境・技術革新）の変化を踏まえつつ、
「継続的な利益確保」、「企業価値の向上」、「雇用機会の創出」を目指します。

5つの取り組み



01 コア事業の拡大と高度化

中部に加え、関東・関西マーケットの
優良顧客の獲得と得意分野の事業特化・
ソリューションの拡充を図る

02 Next事業への挑戦

コア事業で培ったノウハウと知見を活かし
次世代の中核事業となり得るビジネスの
創出に挑戦する

03 新たな価値を創出する技術力

社会課題や経営課題の解決を
デジタル技術で実現する
エンジニアリング力をデザインする

04 人的資本とバックオフィスの強化

社内DXの推進とセキュリティの強化・ガバナンス向上
ブランディングと採用強化で組織拡大をバックアップする

05 従業員エンゲージメントの深化

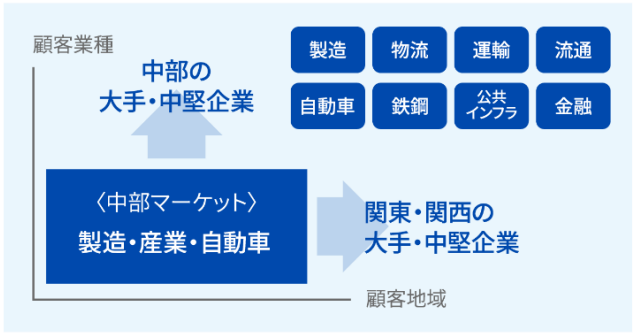
経営理念やビジョンを共有し、
社員の連帯感を高め
会社と社員が共に成長する仕組みを
構築しドライブする

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

01 コア事業の拡大と高度化

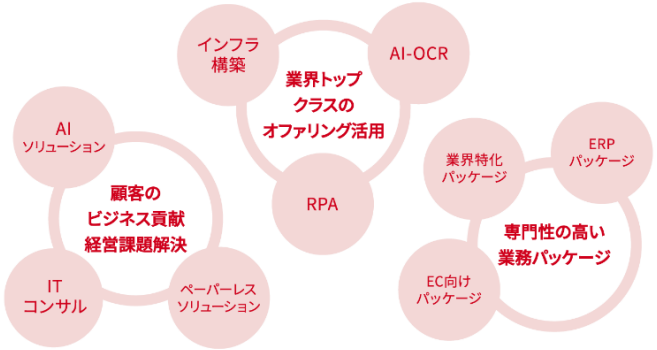
SIソリューションで顧客のビジネスを支える

コア事業の拡大



中部地区の深耕と関東・関西地区のさらなる開拓

コア事業の高度化



ソリューションサービスの拡充！！

強い営業

セールスマネジメント



「既存顧客の深耕」＋「新規顧客の開拓」

SIサービス × DXソリューション

事業特化
特定顧客に依存しないソリューションサービス

得意分野
顧客から選ばれる優位性のある得意分野

顧客密着
顧客に寄り添い欠かせないITパートナー

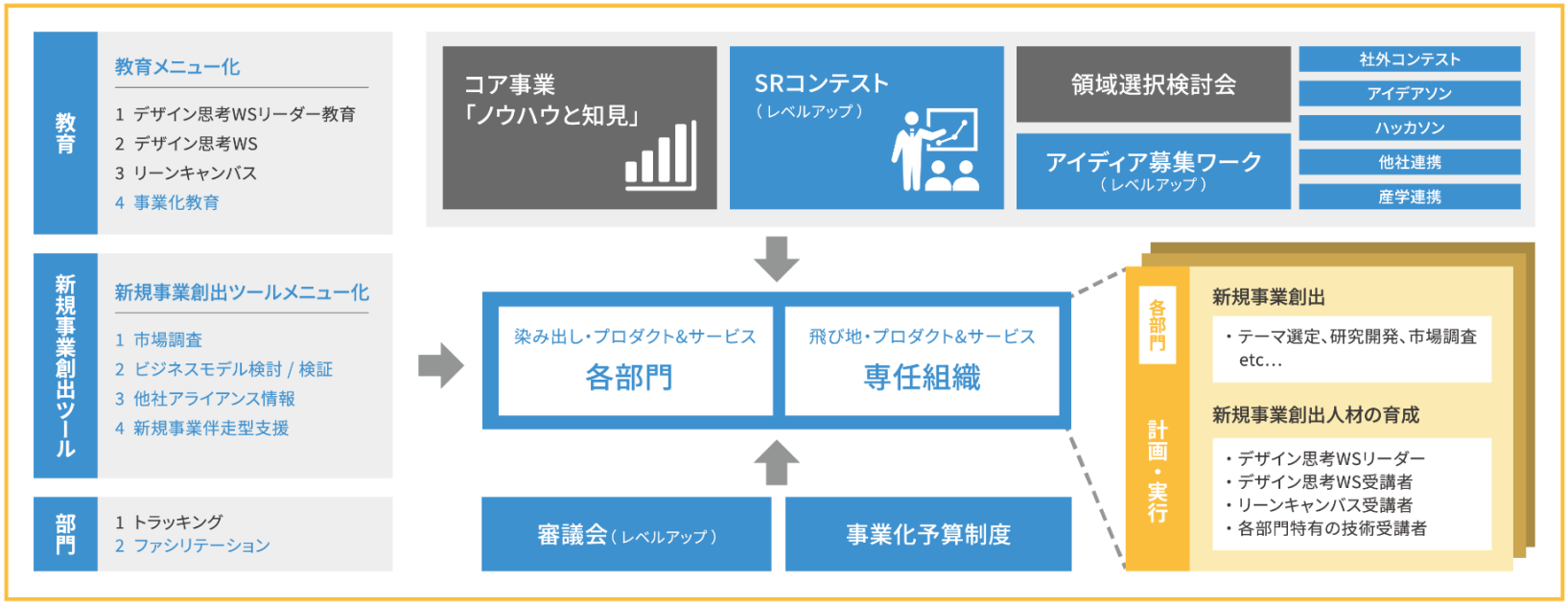
「マネジメントの強化」と「提案力向上」

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

02 Next事業への挑戦

ten by ten innovation 10 × 10 新規事業に挑戦する

新規事業創出フレームワーク ■ 新規事業 ■ 既存事業



次世代の中核事業 10億以上を目指せる新規事業を10創出する

1 EC事業 easy my shop イージーマイショップ / 創作品モール あるる
2 プロダクト事業 Simplex / CTIコネクテル / warm+ / スマカル給与
3 AI事業 デジクエリ / MODEWO
4 5 … 10 新規事業

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

03 新たな価値を創出する技術力

コアスキルでエンジニアリング力をデザインする

コアスキル	卓越したPM力	高度なITスキル	深い業務知識

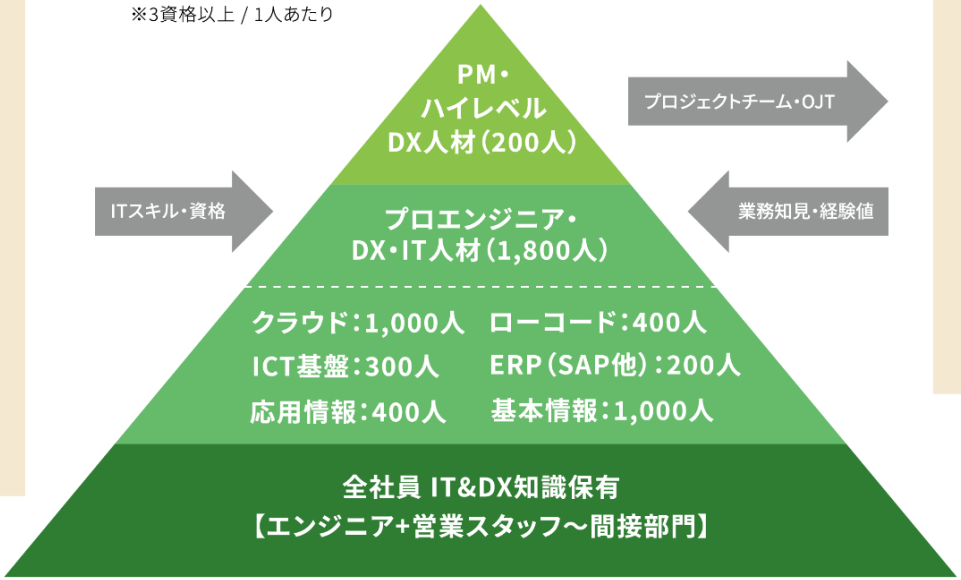
取り組み

- SEコンベンション
- プロジェクトブック作成
- PM育成カリキュラム
- PRiMER※
- 技術戦略策定
- 資格取得（国家/ベンダー）
- 教育研修（社内・社外）
- ラーニングポータルサイト
- AI活用推進室

※プロジェクト・リスク・マネジメント

ベースとなる人材基盤

※iCDレベル4：30%以上
　iCDレベル3以上：60%
※3資格以上 / 1人あたり



顧客（開発現場）とニーズ

- 流通
- エネルギー
- 製造
- 自動車
- 物流
- 鉄鋼
- 電機機器
- 公共インフラ

コンサル
DX案件
モダナイズ
再構築
老朽更新

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

04 人的資本とバックオフィスの強化

2000人体制へ　組織拡大をバックアップする

Point! 1

人的資本の強化

■ 職場環境整備
- 働きやすい施策の導入
  ※実績例：カジュアルエブリディ
- 新事務所建設
- リモート環境の整備

■ ブランディング
- インナーブランディング
- アウターブランディング
- 統合報告書、人的資本開示

■ 採用強化
- 新入社員採用強化(社員数の10%採用)
- 中途社員採用強化(退職者充当率100%)
- 退職者抑制

攻めの管理部門

アグレッシブディフェンス
受身から能動へ　イニシアティブを
発揮してディレクションする

データドリブンな意思決定
客観的・効率的・迅速な
意思決定を支援する

デジタルシフト・AIエージェント
デジタル化・AI活用による
効率化と属人化の解消

Point! 2

バックオフィスの強化

■ 社内DX・業務効率化
- 原則ペーパーレス化
- 主要顧客電子取引
- 自動化（RPA活用）による効率化推進
- 社内データの完全BI化
- 本社業務へのソリューション導入拡大
  （法務・採用等）

■ セキュリティ強化
- ゼロトラストでランサム対策レベル向上
- ISMS認証
- 監視や異常検知へのAI活用

■ ガバナンスの向上
- 全社リスク管理部門新設
- 取引先の全社統一窓口新設
- 本社管理部門主導型「人事/調達/法務」

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

05 従業員エンゲージメントの深化

会社と社員が共に成長する仕組みをドライブする

社員の連帯感向上

- 持続的事業の成長
- 挑戦する組織・風土の醸成
- ブランディング強化

※人的資本レポート
エンゲージメント
指標開示

働きやすい環境

- 健康・安心・安全な環境の提供
- 多様な働き方の実現
- 生産性・効率化の追求

※健康経営優良法人の継続
くるみん認定
平均残業時間把握
年間有給休暇取得日数の把握



個々の成長を支援

- e-Learning等機会提供
- 学びの場の提供
- 各種自己啓発プログラム

※教育の場
コミュニティの提供
研修時間の把握



▲SRラーニングポータルサイト (SilCity)

フィードバックの強化

- 人材情報の可視化
- ジョブ・ポジションの明確化
- キャリアアップ支援制度

※iCD活用システム
ITSS教育訓練

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

業界をめぐる現状と展望

IT業界の現状（事業環境の変化）

レガシーシステムのモダナイゼーション需要

- 大企業の74%に未だにレガシーシステムが残存。「レガシーシステムモダン化委員会総括レポート」（経済産業省）
- 事業経営の足枷となるレガシーシステムの刷新は企業の近々の課題で、需要は当面潤沢な状況が続く。

エンジニア不足

- 2030年にはIT人材が最大79万人不足する可能性。「IT人材供給に関する調査レポート」（経済産業省）
- 人材獲得競争は今後さらに激化し、先端技術を扱うスキルを持つ人材を確保出来ないSIerは淘汰されていく。

生成AIの台頭

- 開発プロセスの自動化・効率化が進行し、エンジニア不足問題の解消と利益率向上に寄与。
- SIerが担っていた役割をAIが代替→受注件数の減少や単価の低下など収益減少リスクが発生。

サイバー攻撃・情報漏洩の多発

- DX、クラウド利用の拡大による攻撃対象の広がりに加え、AIの悪用など攻撃方法も高度化、巧妙化が進行。
- 企業のセキュリティ投資需要の増加と同時に、開発・運用を担うSIerにも、より高いセキュリティ対策が求められる。

- 受託開発から、より高付加価値なサービスが提供出来るSIerへ
  - 顧客の信頼を支えるセキュリティ基盤の高度化
    - M&Aや経営統合による業界再編への対応

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

生成AIの現状と活用状況

生成AIの現状

領域	対象作業
生成AIが得意な領域	情報整理・要約、言語処理・文書生成、複数ソースの横断検索、手順化、繰り返し処理など
現時点で生成AIが苦手な領域	制度・法改正への対応、高い専門性が必須な業務、責任の所在が重い承認など

＊当社理解による

当社の状況

売上の8割を占める基幹システム開発は、高い専門性や調整力が求められるため
生成AIにとって「苦手な領域」に該当

生成AIの活用状況

コンサルティング → 設計 → 開発 → テスト・導入 → 運用・保守

コンサルティング	設計	開発	テスト・導入	運用・保守
業務知識や法律判断が必要な領域では AIの活用は現時点では限定的		ソースコードの自動作成、言語の置き換え等 生産性、収益性向上に寄与し生成AIの活用 効果が最も高い	テストケース生成、問合わせ自動 対応等で活用も、結果の検証には 人的レビューが必要で、工数も多い	

当社の取組み

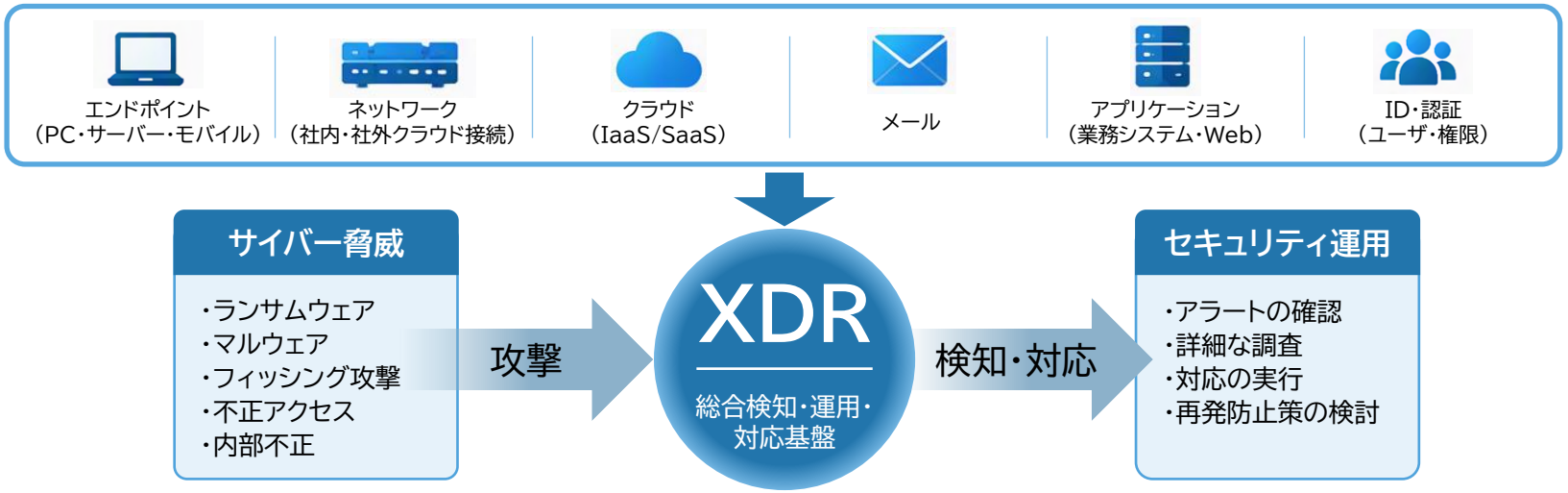
- AIの影響が限定的な上流工程（コンサルティング・設計）の受注拡大
- 開発工程へのAI活用でリードタイム圧縮・工数削減
- 2026年4月 AX推進室を新設
  「業務プロセス革新」「システム・ソフトウエア革新」「BPR+AXを活かした新プロデュースビジネス創出」 3つの軸で業務革新、ビジネス革新を推進。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

サイバーリスクに対する当社の状況・認識と取組み

当社の状況	当社のSIサービス事業の8割は基幹システム開発。顧客からお預かりする機密情報や顧客データには高いセキュリティ対策を実施。
当社の認識	日々巧妙化・悪質化する攻撃に対し、より強固な対策構築は重要な経営課題と認識
当社の取組み	2026年4月　次世代型セキュリティシステム「XDR」導入

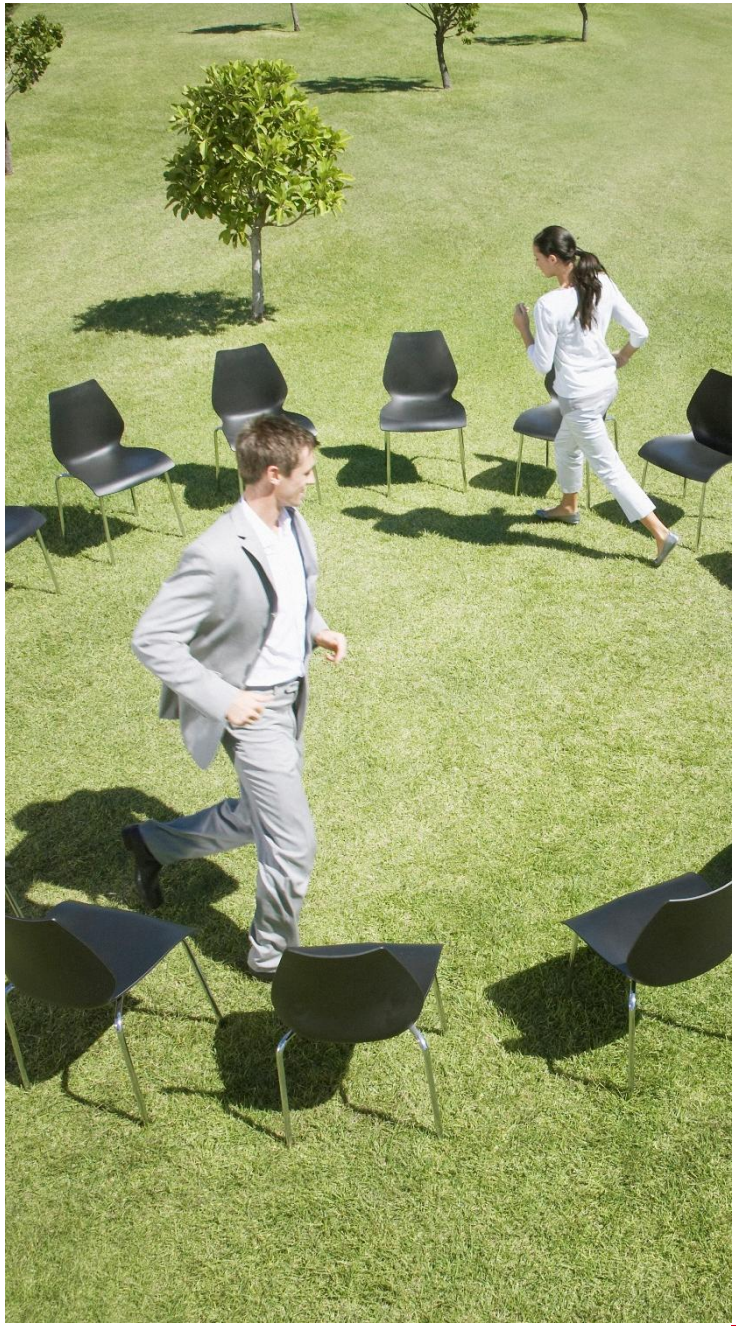
エンドポイント・ネットワーク・クラウド・メールなど複数のセキュリティレイヤーから得られるデータを統合的に分析し、サイバー脅威の検知・調査・対応を迅速に行う。社内環境に導入し、開発環境や機密情報・顧客データを扱う環境の監視を強化。



事業リスクの低減、安定した事業運営と信頼確保で持続的な企業価値向上へ

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

04. サステナビリティ



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

サステナビリティにおける取り組み

ダイバーシティ エクイティ＆インクルージョンの推進

■ SDGsとの関係（注力項目）

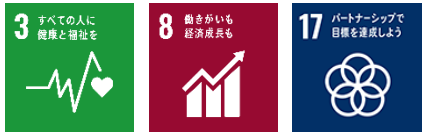


■ 主な取り組み

- 多様な個性の活躍推進（女性、障がい者、LGBT、シニア等）
- 社員の長期的なキャリア形成を支援する風土改革・意識醸成
- キャリア研修の企画／実施
- キャリアアップ支援制度（人材育成）

健康経営への取り組み

■ SDGsとの関係（注力項目）

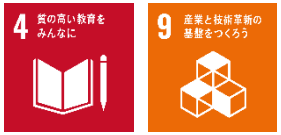


■ 主な取り組み

- 多様な働き方（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- グッドジョブチャレンジ（長時間労働の抑制、有給休暇取得率の向上）の継続
- メンタルヘルス教育の実施

DX時代の技術対応

■ SDGsとの関係（注力項目）



■ 主な取り組み

- DX技術を用いた付加価値創造へのチャレンジ
- DX技術者の育成
- PM育成カリキュラムの推進

安心・安全・豊かな暮らしへの取り組み

■ SDGsとの関係（注力項目）



■ 主な取り組み

- PRM（プロジェクト・リスク・マネジメント）活動の強化
- 情報セキュリティ、個人情報保護、法令順守
- 環境負荷低減（省エネの推進）
- 働きやすい労働環境の確保、人権の尊重
（国連グローバル・コンパクトへ署名

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

数字で見る取組結果(2026年3月末)

全役務者に占める女性役務者割合

12.3%

目標値7.0%

女性の継続雇用割合

99.9%

目標値80.0%

育児休業取得率

女性 **100%**　男性 **70%**

男性育児休業取得率
平均50.9%
(2025年厚生労働省調べ)

平均残業時間

14時間24分

目標値18時間

有給休暇取得率

81.7%

離職率

7.4%

業界平均10.2%
(2024年厚生労働省調べ)
※定年退職者(準従業員移行も含む)を除く

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

各種認定・認証（社外からの評価）

「DX認定事業者」
認定取得

［経済産業省・日本経営会議］
健康経営優良法人

「iCD活用企業認証
Gold★★★」認証

［厚生労働省］
プラチナくるみん認定

IS 81 748 /ISO(JIS Q)27 001

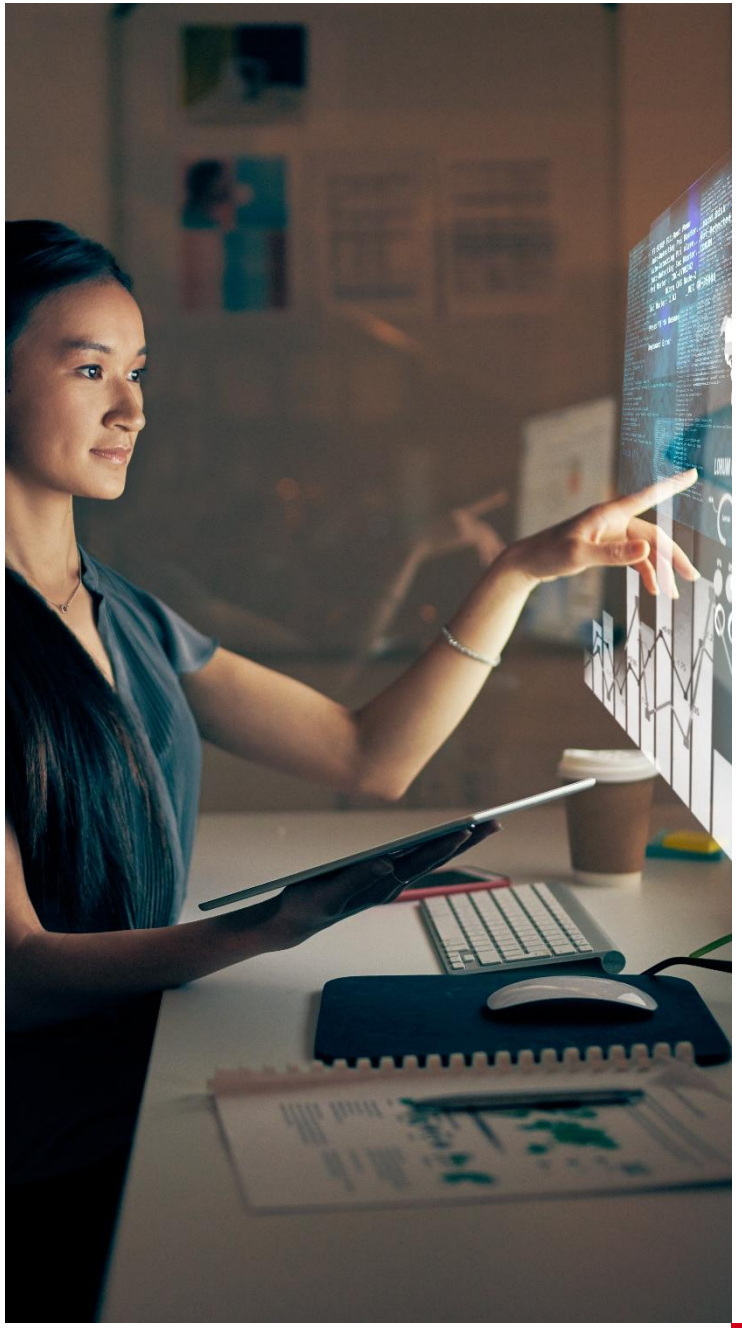
情報セキュリティ
マネジメントシステム取得

登録範囲：受託システムの設計、開発、導入、運用、監視、提案及び保守サービス業務、並びに常駐派遣する要員の管理業務(SEサービス業務)・プロダクト開発、保守サービス業務・WEBサービス業務

［厚生労働省］
プライバシーマーク取得

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

05. ソリューション紹介



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

SIサービスとソフトウエア開発

お客様の経営課題に向き合い
培ったノウハウと高い技術で、満足いただけるサービスをご提供します。



















© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

SIサービスの主な開発実績①

01 自動車販売店の販売情報管理システム

【クライアント】

大手自動車メーカー

全国の販売店(ディーラー)向け
商談見積、受発注管理システム
営業支援、顧客管理システム





02 宅配業の荷物配送・管理システム

【クライアント】

大手宅配運送会社

伝票発行システム開発
配送伝票の代理発行システム

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

SIサービスの主な開発実績②

03 自動倉庫の制御・管理システム

【クライアント】

大手物流メーカー

物流センターの入荷から出庫までの
管理を自動化するシステム
在庫管理や搬送制御機能も備える





04 製鉄所の操業管理システム

【クライアント】

大手製鉄メーカー

製鉄所での原材料受入から出荷まで
生産工程における設備・製造ラインの
操業・品質管理システム

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

SIサービスの主な開発実績③

05 IT業務分析とコンサルティング

【クライアント】

大手医療商材サプライヤー

IT業務分析とコンサルティング
その結果によるCTI導入やアプリ構築で
顧客体制強化・営業施策強化を支援





06 基幹システム向けインフラ基盤をAWS環境に構築

【クライアント】

大手サービス業

基幹システムの再構築に伴い、
AWS環境にインフラ基盤を構築

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

SIサービスの主な開発実績④

07 商社のERPシステム

【クライアント】

大手商社

販売/購買/会計業務領域向け
SAPシステムの導入・開発・VerUP作業。
子会社への導入展開も実施。





08 試作車生産情報管理システムのローコード開発

【クライアント】

大手自動車メーカー

ローコード開発ツール『Outsystems』
を用いた大規模アジャイル開発により
柔軟性の高いシステムをより早く提供。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

EC支援サービス

ネットショップ作成・運用Webサービス

イージーマイショップ

イージーマイショップ
二次元コード ▶

・思いどおりのネットショップを手軽に作成
・セット販売、オーダーメイド商品、ダイナミックプライシング、サブスクリプション対応　など独自機能が豊富

easy my shop
イージーマイショップ



職人の想いがこもった作品に出会えるお買い物促進サイト

創作品モール「あるる」

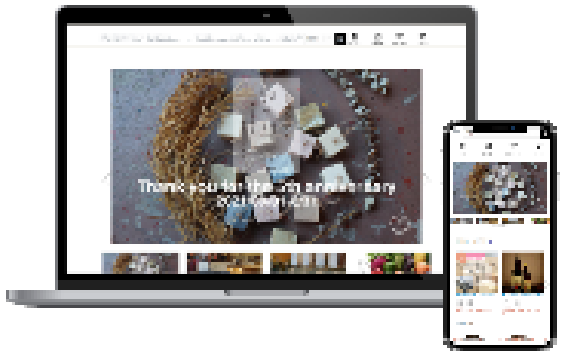
創作品モール「あるる」
二次元コード▶

職人の創作品が
約27万点
※2026年4月時点

職人さんと皆様の
架け橋に

誰から
買うかを大切に

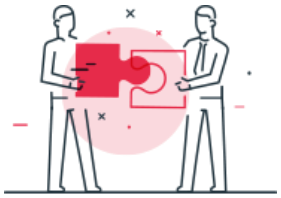
素敵な商品との
出逢いが



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

イリイプロダクト （中小企業向け業務パッケージ）

業務ソフト開発実績40年以上のノウハウを活かし、財務・給与などのバックオフィス系から
CTI・通販といったフロント系まで、多くのお客様にご導入頂いています。

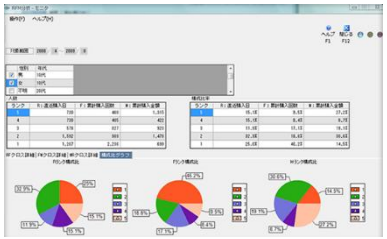


インボイス制度、電子帳簿保存法にも対応

通販系

通販業向け販売管理・CRM

Simplex



CTI・コールセンター系

アドオン型CTI

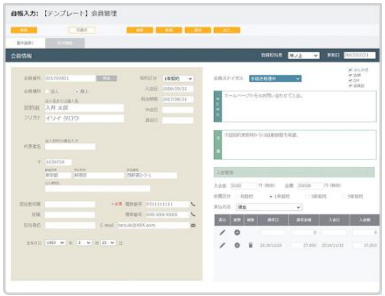
CTIコネクテル



CRM

クラウド型CRM

ウォームプラス WArm+



BIGシリーズ

イリイのクラウド
スマカル給与

オンプレ型 顧客管理
BIG 顧客管理NEO

BtoB型販売管理
BIG 販売管理NEO

仕訳伝票入力から
決算処理まで管理
BIG 財務会計NEO

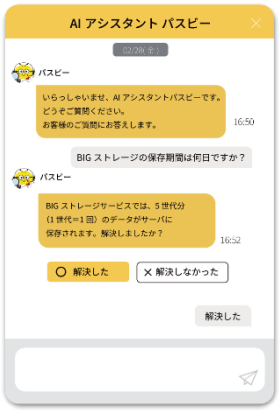
© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

AIソリューション

AIチャットボットサービス

AIアシスタント
パスビー

“調べる”から”対話”へ。
AIがナレッジの窓口に。



RAG技術
ドキュメントやWebから質問に関連する情報を探す

×

生成AI
RAGが見つけた情報をもとに、答えをつくる

→ 自然で正確な答えをすぐに生成。スムーズな問い合わせ体験を実現。



高度な文書検索サービス

デジクエリ

チャットで質問
企業内情報から検索
生成AIが回答

チャット形式で質問すると、
生成AIが事前に取り込んだ社内文書から
必要な情報を要約/翻訳して回答します



回答の根拠となった文書も表示
されますので、スピーディに欲しい情報にたどり着くことができます



名古屋大学医学部附属病院様との共同研究を正式発表

AIを活用した開発支援事例

2024年9月 ジェイアイ傷害火災保険様、日本アイ・ビー・エム様との共同プレスリリースを発表！

破損したスーツケースの画像アップロード



AIが破損の有無を判定



自動で保険金を支払い

顧客満足度向上
保険金受取までの日数
最短 3日 ➡ 最短 即日

スーツケースの破損判定を画像認識AIで自動化
顧客満足度向上と人的コスト削減に貢献

日本アイ・ビー・エム	システムリサーチ	ジェイアイ傷害火災保険
IBM Maximo Visual Inspection 環境提供	AI専門チームが技術サポート	Web保険金請求システム自社構築

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

その他ソリューション

ドキュメントソリューション

DX Suite

i-Reporter

CLOUDSIGN

BI

MotionBoard

Dr.Sum

インフラ

HashiCorp Terraform

RPA

UiPath

WinActor®

ERP

IFS

mcframe

AI

watsonx®

業務パッケージ

FLEXSCHE

開発基盤

Power Platform

楽々Framework3

BizBrowser®

CRM

salesforce PARTNER

kintone

※会社名、製品・サービス名、ロゴマークは該当する各社の商号・商標または登録商標です。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

06. 株主還元



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

株主還元

当社は、収益状況や今後の見通し、配当性向などを総合的に勘案し、**継続的な安定配当**を維持し、株主の皆様へ利益還元を行うことを基本方針としています。
株主還元の一層の充実を図るべく、**配当性向50%**を目標とするとともに、2027年3月期から2029年3月期までの中期(3ヵ年)経営計画期間において**累進配当**といたします。

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 予想
EPS (1株当たり当期純利益)	117.81円	132.29円	157.49円	170.82円
ROE (自己資本利益率)	20.0%	19.6%	20.6%	19.8%
1株当たり配当金	40.0円	60.0円	70.0円	80.0円

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

株価推移



（注）当社は、2006年10月1日、2016年4月1日、2019年10月1日、2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割を行いました。分割前の株価ならびに出来高は連続性を維持するため分割後の値に調整しております。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

「みんかぶアワード2025」受賞　*2年連続

東証プライムの上場社数1599社（2025年12月末時点）
のうちの35社に選定。
今後も株主、投資家の皆様のご期待に応えられるよう
株主還元の充実を図ってまいります。



●みんかぶアワードとは

国内最大級の金融・資産形成情報メディア「みんかぶ」が年に一度、3800以上ある上場銘柄から規模や業種を問わず、今後が特に期待されるものを選定・表彰する制度。
https://minkabu.jp/awards/2025

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

07. 参考資料

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Appendix(1)沿革 （単体売上高の推移）

1981年
設立

1987年
大阪支店設立

1989年
東京支店設立

2005年
JASDAQ上場

2006年
株式会社イリイを
連結子会社化

2012年
株式会社ソエル
設立

2014年
株式会社イリイ合併

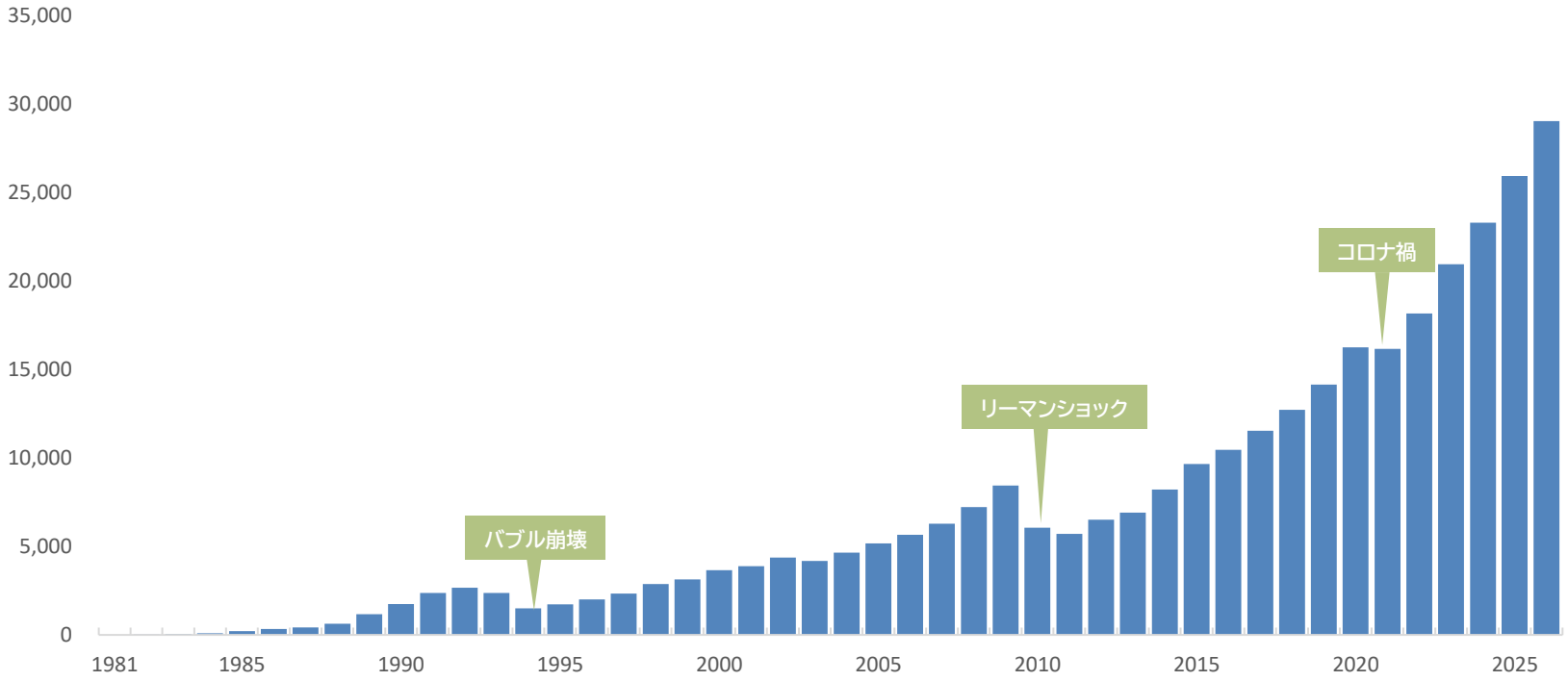
2016年
東証二部に市場変更
東証一部銘柄に指定

2022年
ゼネラルソフトウェア
株式会社を連結子会社化

2023年
ゼネラルソフウェア
株式会社合併

2025年
名証プレミア市場に
重複上場

（単位：百万円）



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Appendix(2)連結損益計算書

（単位：百万円）

2027年3月期　第2四半期(中間期)

科　目	単体		連結	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	15,138	100.0%	15,169	100.0%
売上原価	11,782	77.8%	11,819	77.9%
売上総利益	3,356	22.1%	3,349	22.0%
販売費及び一般管理費	1,900	12.5%	1,885	12.4%
営業利益	1,456	9.6%	1,464	9.6%
経常利益	1,453	9.6%	1,466	9.6%
中間純利益	1,007	6.6%	1,016	6.6%

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Appendix(3)連結貸借対照表

（単位：百万円）

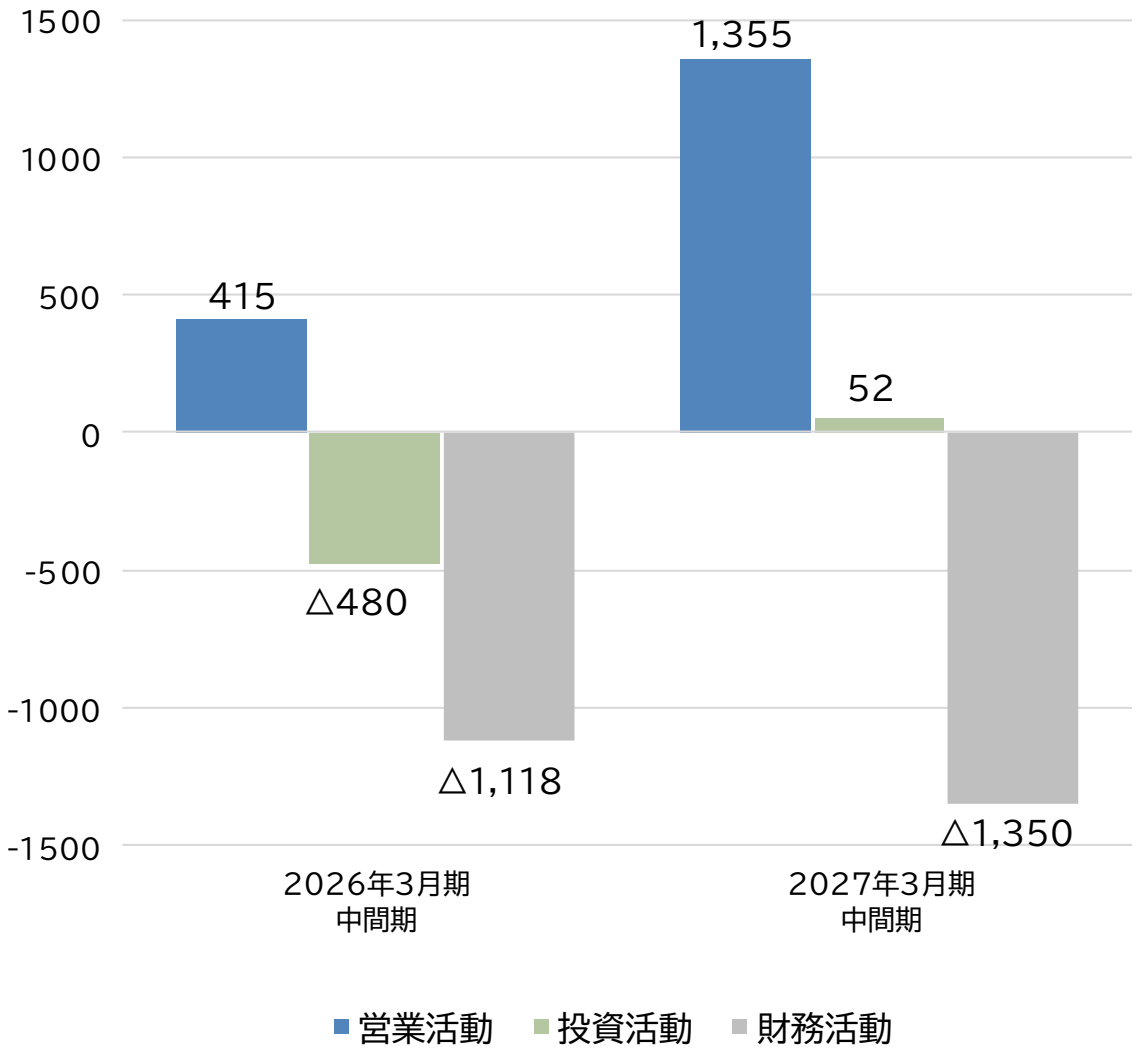
2027年3月期　第2四半期(中間期)

科　目	金額（単体）	金額（連結）	科目	金額（単体）	金額（連結）
現金及び預金	8,384	8,487	買掛金	1,241	1,241
売掛金及び契約資産	5,330	5,336	短期有利子負債	505	505
たな卸資産	49	49	未払法人税等	459	463
その他の流動資産	184	185	その他の流動負債	2,603	2,606
有形固定資産	3,283	3,283	長期有利子負債	261	261
無形固定資産	248	242			
投資その他の資産	895	880	純資産合計	13,304	13,386
資産合計	18,376	18,465	負債純資産合計	18,376	18,465

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Appendix(4)連結キャッシュ・フロー

（単位：百万円）



■前年度比較

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益発生により前年同期比で資金増加額が、939百万円増

投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の売却により前年同期比資金減少額が533百万円減

財務キャッシュ・フロー

配当金の支払いにより資金減少額が前年同期比232百万円増

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

Appendix(5)中期(3ヵ年)経営計画(連結)

(単位:百万円)

項　目	2027年3月期(計画)	2028年3月期(予想)	2029年3月期(予想)
売上高	32,276	36,150	40,488
営業利益	3,850	4,374	4,972
経常利益	3,907	4,430	5,029
当期利益	2,836	3,022	3,432

業務区分	2027年3月期(計画)	2028年3月期(予想)	2029年3月期(予想)
SIサービス	12,361	13,946	15,654
ソフトウエア開発	18,400	20,581	22,942
ソフトウエアプロダクト	420	418	423
商品販売	673	676	826
WEBサービス等	420	528	641
合計	32,276	36,150	40,488

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.



本資料についてのご注意

- 本資料は、当社グループの業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている当社グループの将来予測に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。
- 文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

IR情報メール配信サービス

https://rims.tr.mufg.jp/?sn=3771

企業と投資家をツナグ RIMSNET
IR情報 メール配信
配信のご登録はこちら

お問い合わせ先

株式会社システムリサーチ(広報室)
〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通二丁目12番　TEL:052-413-6820
URL: https://www.sr-net.co.jp/ir/　E-Mail:ircontact@sr-net.co.jp

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.